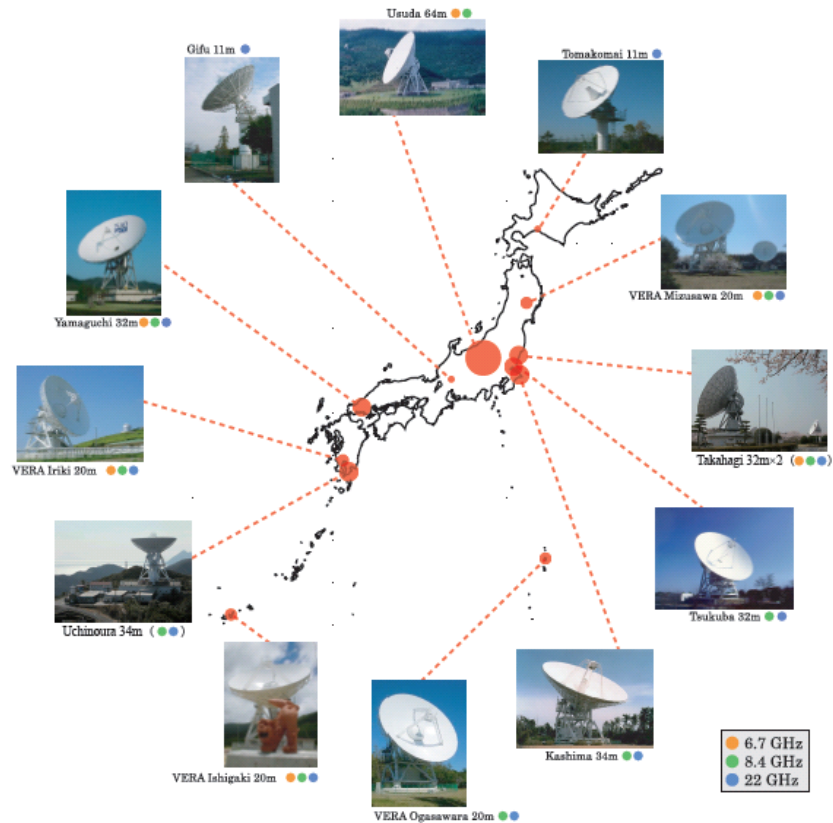


# 大学VLBI連携

藤沢健太、新沼浩太郎(山口大学)

- 2015-2016年度実績
- 2016年度計画
  - 観測実施
  - 研究推進
  - 開発
- 将来計画



北海道大学・茨城大学・筑波大学・岐阜大学・大阪府立大学・山口大学・鹿児島大学の連携観測網JVN

# 2015年度実績：観測

- 観測実施 2015/10/01 – 2016/09/30

バンド	観測回数	観測時間	内容
6.7	13	101.5	バーストしたメタノール・メーザS255 周期的変動を示すメタノール・メーザ メタノール・メーザのアstrometry アウトフローに乗ったメタノール・メーザ
8	14	96.5	銀河系内コンパクト天体 NLS1 WR Star High-z AGN JVN広帯域観測試験 EAVN試験観測
22	4	82	Evolved Star(今井さんの50時間連続観測) EAVN試験観測 吸収線AGNのVLBI観測
合計	31	280	(例年並み。定常的に観測を実施している)

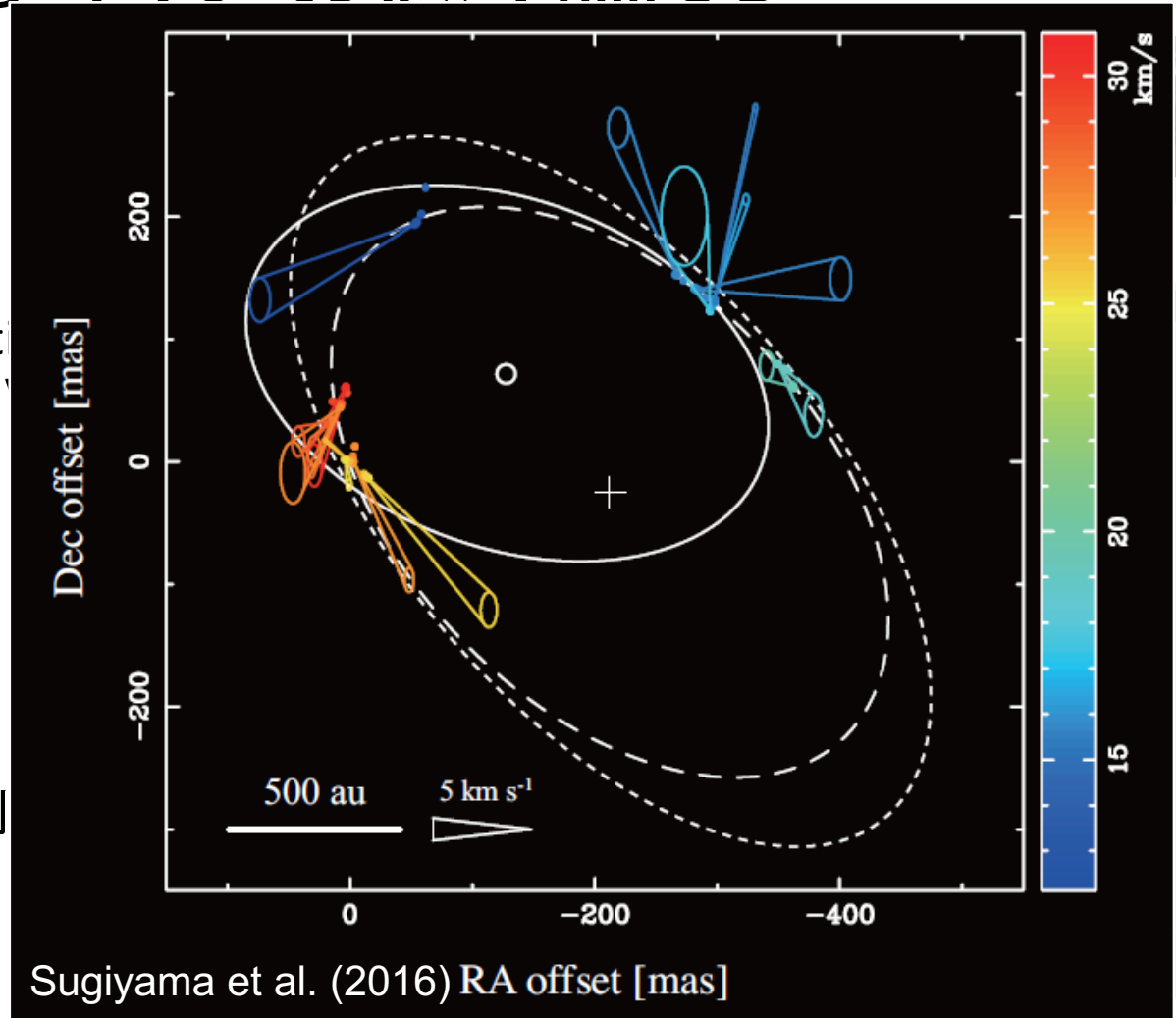
# 2015年度実績：論文

- PASJ特集号

- Vol 68 (Oct 2016)
- “Special Feature: University Collaborat Optical/Infrared and Observations”
- 光赤外1編
- VLBI 8編



研究成果が出るVLBI観測  
になっている



続編出版計画が光赤外より提案？

(※出版が遅くなってご迷惑をおかけしたみなさまにお詫びします)

# 2015年度実績：教育

調査不十分のため省略

# 苫小牧11mの運用停止、北大離脱



- 2015年度末で大学連携から北大が離脱、苫小牧11mは運用停止
  - 望遠鏡の老朽化、運用体制の維持の困難などが理由
- 15年間の北大・苫小牧の成果の一部を紹介
  - Sorai et al. (2008), Motogi et al. (2008), Nagayama et al. (2008), Motogi et al. (2016)などの苫小牧11mを利用した研究成果
  - 銀河・星形成研究の拠点
  - 多数のPhDを輩出

# 人事のおしらせ

2016年10月1日より、元木業人さんが山口大学の助教になりました



(2013年3月15日、北大・山大合同セミナー)



# つくば32m運用停止

- つくば32m運用停止、解体
  - 2016年末
  - VLBI観測は石岡局に特化
- 大学連携・JVNには痛手
  - 有力な8 GHz観測局



30mを超える観測局は、茨城、山口、鹿島、臼田



- 茨城・山口を中心とした研究を組織的展開
- 長時間利用可能性を積極的に利用

**ギャラリー展**  
**さようなら!**  
**つくばVLBIアンテナ**  
～18年の感謝をこめて～

**2016. 10.4(火)～12.18(日)**

**つくばから石岡へ**  
～新たな測地観測局にバトンタッチ～

最新型VLBIを備えた石岡測地観測局

つくばVLBIアンテナ公開  
公開イベントのお知らせ  
11.4(金)・11.5(土)(悪天中止)  
9:30～16:00(受付 9:30～15:15)  
お問い合わせ: 電話 029-864-4828

**入場無料**

**<開館時間・休館日>**  
開館時間: 9:30～16:30  
休館日: 毎週月曜日  
(ただし月曜日が祝日のときは翌火曜日)  
10月10日(月)「体育の日」は開館します。  
翌11日(火)が休館日となります。  
※10月29日(土)・30日(日)臨時休館

**<会場>**  
地図と測量の科学館 地図のギャラリー  
(茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内)  
お問い合わせ: 電話 029-864-1872

国土交通省国土院 国土院 国土院

# 大学VLBI連携ワークショップ



- 2016年7月9-10日、茨城局

今後5年から10年かけて大学VLBI連携としてどのような研究にリソースを投じていくべきか、そして各大学もどのように各自のユニークな研究を推進していくかを議論し、見極める場にしたい

議論・・・各大学の研究計画の再定義、新しい研究計画の提案、大型計画との関連、長期的展望などについて、深い議論が行われた

一つの方針案



- 少数基線・大規模観測(茨城ー山口等)
- 突発天体・時間領域天文学
- 東アジア連携

大学間の連携、教育と開発も重視。長期的に「我々の望遠鏡」をいかに作るか？



# ある程度の方向性は見えた(と認識) あとは周囲に示せるように文書化(年内目処)

- 2016年7月9-10日、茨城局



今後5年から10年かけて大学VLBI連携としてどのような研究にリソースを投じていくべきか、そして各大学もどのように各自のユニークな研究を推進していくかを議論し、見極める場にしたい

議論・・・各大学の研究計画の再定義、新しい研究計画の提案、大型計画との関連、長期的展望などについて、深い議論が行われた

一つの方針案



- 少数基線・大規模観測(茨城一山口等)
- 突発天体・時間領域天文学
- 東アジア連携

大学間の連携、教育と開発も重視。長期的に「我々の望遠鏡」をいかに作るか？